

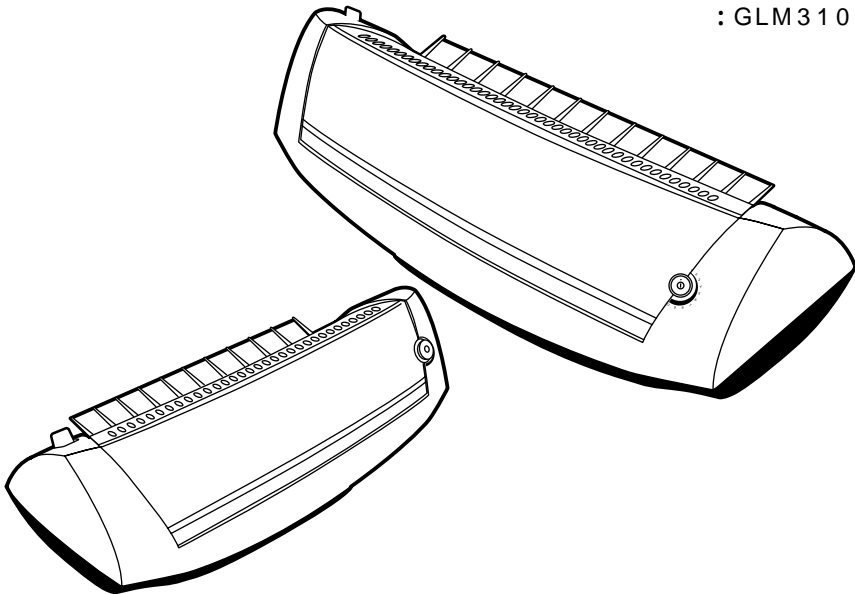


取扱説明書

パウチラミネーター

L210/L310

品番 : GLM210
: GLM310



GBC 日本ジ・ピー・シー株式会社

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー
TEL. 03(5351)1801 <http://www.gbc-japan.co.jp>

はじめに

このたびはGBCパウチラミネーターをお買求めいただき、
ありがとうございました。

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、
未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

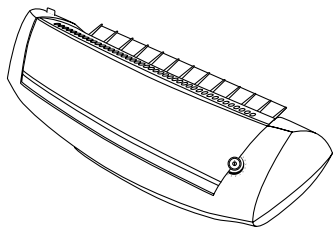
目 次

1.内容物の確認	1
2.ご使用上の注意	2
3.各部の名称と働き	4
4.ラミネート作業上の注意	5
5.ご使用の前に	6
6.操作方法	6
7.お手入れ方法	10
こんなときは	11
製品仕様	12
保証とサービス	

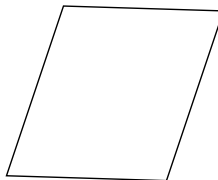
1・内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

マシン本体



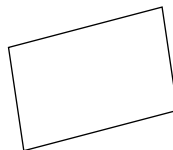
クリーニングペーパー



取扱説明書（本書）



ラミネーター使用時の注意書き



お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

2・ご使用上の注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。



警告



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。

高温のため、やけどをする恐れがあります。



ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。

けがをする原因になることがあります。

万一引き込まれたときは電源スイッチを「OFF」にして取り除いてください。



濡れた手で電源プラグを扱わないでください。

感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたり、しないでください。

火災、感電の恐れがあります。




ご自分で分解、改造、修理をしないでください。

感電や思わぬけがをする恐れがあります。



万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。

火災、感電の恐れがあります。

 注意

本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。



絶対に可燃物(セロハン等)、軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れないでください。
火災の恐れがあります。



ラミネーター操作中はそばを離れないでください。
また、加工を終了した場合は電源スイッチを必ずオフにしてください。



絶対に本体の上に物を置かないでください。
本体上面は高温になります。



本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。



冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。
火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。
火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
火災、感電の恐れがあります。

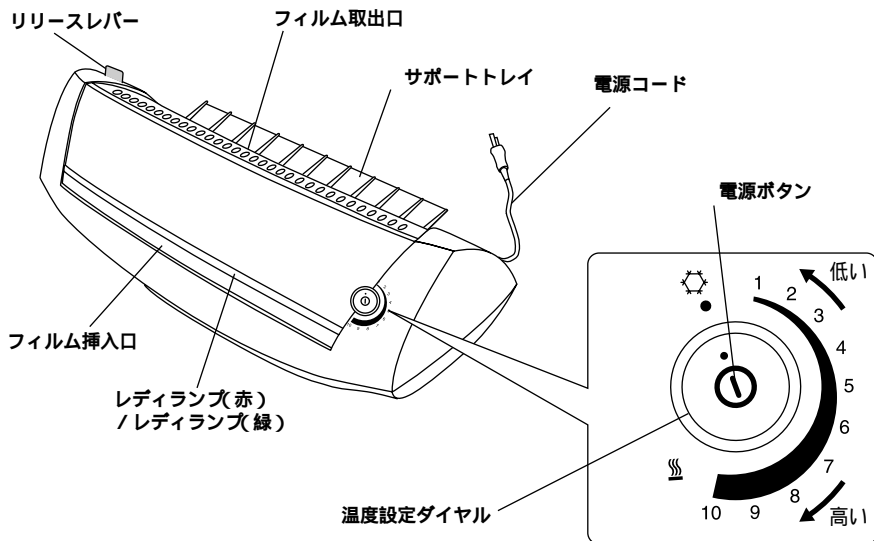


必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにものをおかないでください。



電源は必ずAC100V 電源をご使用ください。タコ足配線はしないでください。
火災、感電の恐れがあります。

3・各部の名称と働き



フィルム挿入口

パウチフィルムにラミネートするものをはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部(接合部)側から挿入します。

フィルム取出口

ラミネートされたものがここから排出されます。排出されたフィルムを取り出してください。

レディランプ(赤)/レディランプ(緑)

電源をオンにしますと、ランプが「赤」に発光します。また、ウォームアップが完了すると、ランプが「緑」に発光してラミネート可能な状態を表します。

サポートトレイ

フィルム取出口に出てくるラミネートされたものを支えるトレイです。使用時はサポートトレイを水平になるようにセットしてください。

電源ボタン

このボタンを押して、電源をオン・オフにします。使用しない場合は、必ずオフにしてください。

温度設定ダイヤル

このダイヤルを回して、コールドおよびホットラミネート温度を設定します。数値が大きいほど設定温度が高くなります。

リリースレバー

加工時にフィルムがフィルム取出口から出てこない時は、電源ボタンをオフにしてから、マシン背面にあるリリースレバーを押しながら、加工物をフィルム挿入口から引き戻してください。

電源コード

マシン本体背面にある電源コードを、必ずAC100Vのコンセントへ差し込んでください。

4・ラミネート作業上の注意

ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはやめてください。

ラミネートするもの

このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユゴ等はラミネートしないでください。

和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。

可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。

再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。

フィルムを含めて厚さ1mm以上になるものはラミネートしないでください。

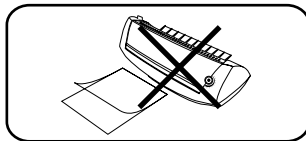
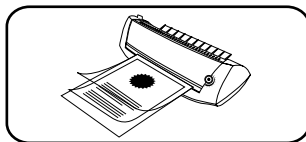
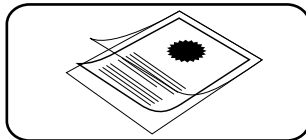
インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。

ラミネートするとき

フィルムのシール部には余白を取らずに、ラミネートする紙は必ずフィルムのシール部(接合部)全巾に沿って押し当ててセットしてください。
異形物加工の場合はシール部全巾に「捨て紙」を入れて、シール部の余白がないようにしてください。

必ずフィルムはシールされた側(接合部)からラミネーターに入れてください。

写真や紙をはさまないで、フィルムだけでラミネートしないでください。



上記の3点は必ずお守りください。



注意

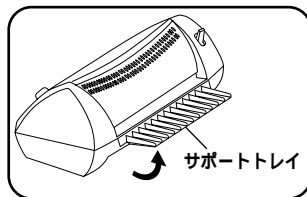


間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。(有償修理対象となります。)

貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

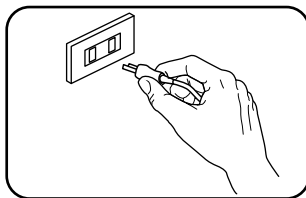
5・ご使用の前に

マシン背面にあるサポートトレイを、フィルム取出口と水平になるように持ち上げて、ロックしてください。



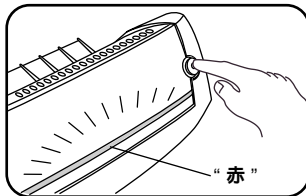
6・操作方法

電源プラグをコンセント(100V)に差し込んでください。



電源ボタンを押してください。

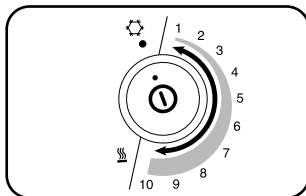
レディランプが赤く発光します。



温度設定ダイヤルを回してラミネート温度を設定してください。

下表を参照に、ラミネートする用紙の種類・使用するラミネートフィルムの厚さに合わせて設定してください。

下表は目安ですから適時調整してください。



温度が高すぎるとフィルム詰まりの原因となることもありますので、数字の低い設定でテスト加工して、適切な温度設定を確認してください。

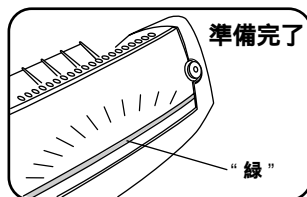
温度設定目安表

加工物	フィルム厚	100 μm
コピー用紙		2~4
カタログ		3~5
写真		4~6

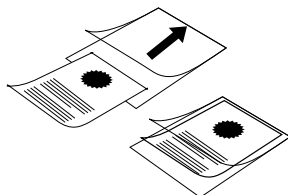
設定温度を下げる時は、15分以上放置してから加工してください。

約5～10分後にフィルム挿入口のレディランプが“緑”に発光し、ラミネート可能なことを知らせます。

設定温度により時間は異なります。

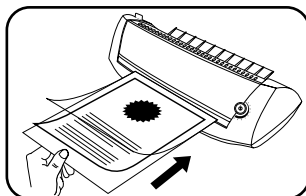


ラミネートするものをパウチフィルムのシール部全巾(接合部)の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。



貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

シールされた側からフィルムを通し、フィルム挿入口へまっすぐに差し込んでください。



警告



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。

高温のため、やけどをする恐れがあります。

警告



ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。

けがをする原因になることがあります。

万一引き込まれたときは電源スイッチを「オフ」にして取り除いてください。

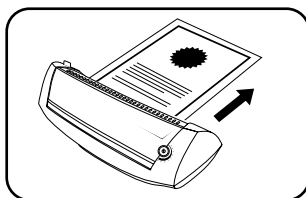
注意



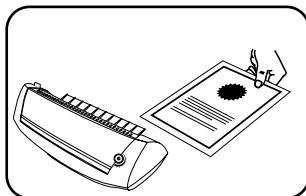
間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

パウチフィルムがマシン背面のフィルム取出口から出てきます。

フィルムが出てこない場合は、直ちに電源ボタンを押して電源をオフにしてください。次に、9ページの説明に従って取り除いてください。



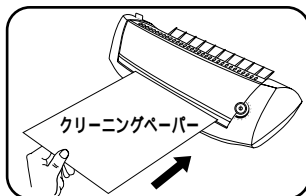
ラミネートされたフィルムをマシンから取り出し、平らなところへ置いてください。約1分間冷却して完了です。



連続ラミネートをする場合

連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをフィルム取出口から取り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。

ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパーをフィルム挿入口より入れてください。この作業を数回繰り返してください。



ローラークリーニング

ローラーが汚れていますとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。

クリーニングペーパーがない場合は、厚手の紙(画用紙程の厚さ、200g/m²程度の厚さの用紙)を使用してください。

二つ折りにした紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、コピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、使用しないでください。

オートシャットオフ機能

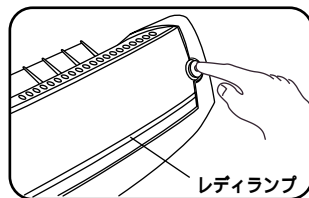
電源が入ったまま1時間以上ご使用されない場合は、安全の為に自動的に電源が切れます。再度ご使用になる場合は、電源ボタンを押して電源を入れなおしてご使用ください。

フィルム詰まりトラブル解消方法（リリースレバー）

ラミネート加工時に、フィルム取出口から加工されたものが出てこない場合は、全てのフィルムが機械内部に引き込まれる前に下記のような処置をしてください。

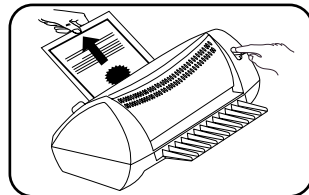
直ちに電源ボタンを押して、電源をオフしてください。

レディランプの発光が消えます。



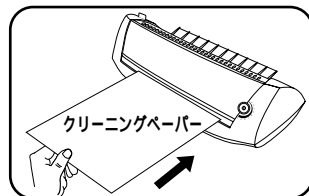
マシン背面にあるリリースレバーを押しながら、加工物をフィルム挿入口から引き戻してください。

下まで押し下げないで引き戻すと、内部機構を損傷する場合があります。



必ずローラーをクリーニングしてください。

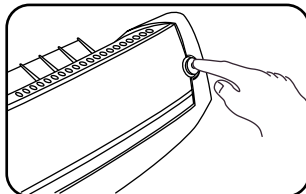
8ページのローラークリーニングを参照。



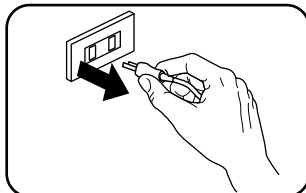
7・お手入れ方法

電源ボタンを押して、電源をオフしてください。

レディランプの発光が消えます。

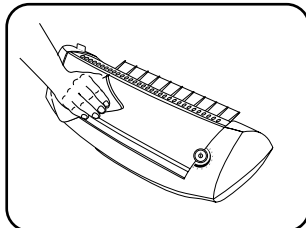


電源プラグをコンセント(100V)に抜いてください。



やわらかい布でから拭きをしてください。

お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。



汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。

シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。



警告



ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。
感電や思わぬけがをする恐れがあります。

8・こんな時は

現象	原因	対処法（参照ページ）
電源が入らない (レディランプがつかない)	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？ 電源ボタンが「オン」に入っていますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。（6ページ） 電源ボタンを押してください。レディランプが「赤く」発光していることを確認してください。（6ページ）
ホットラミネートができない	レディランプ「赤」が発光していますか？ レディランプ「緑」が発光していますか？ クーラーの冷気が直接当たっていませんか？	電源ボタンをオンに入れて、レディランプを「赤く」発光させてください。（6ページ） 温度設定ダイヤルを回して温度をに設定して、レディランプが「緑」に発光するまでお待ちください。（6ページ） クーラーなどの冷気から離してご使用ください。（3ページ）
ラミネートフィルムがはがれる	紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？	紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。（5ページ）
ラミネートされた加工物が波を打っている	ラミネート温度が高すぎます。	ラミネート温度の設定を下げてください。（6ページ）
ラミネートされた加工物の表面が曇っている	ラミネート温度が低すぎます。	ラミネート温度の設定を上げてください。（6ページ）
ラミネートフィルム表面が汚れる	ローラーのクリーニングをしていますか？	同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。（8ページ）
ラミネートフィルムが取出口から出てこない	パウチフィルムがラミネーターの中に詰まっています。	リリースバーを押して、フィルム挿入口側から詰まった加工物を引き出してください。（9ページ）

9・製品仕様

商品名	パウチラミネーター	
	L210	L310
品番	GLM210	GLM310
サイズ(W) x (D) x (H)	400 x 173 x 118 mm	476 x 173 x 118 mm
質量 kg	2.7 kg	3.8 kg
電源	100 V, 50/60 Hz	100 V, 50/60 Hz
消費電力	480 W	550 W
最大ラミネート幅	A4 (241mm)	A3 (318 mm)
最大ラミネート厚	1.0 mm	1.0 mm
ラミネート速度	28(50Hz), 32(60Hz)cm / 分	28(50Hz), 32(60Hz)cm / 分
ラミネート温度	100 ~ 135	100 ~ 135
加熱方式	ヒートローラー方式	ヒートローラー方式
ウォームアップ	約5 ~ 10分	約5 ~ 10分

保証とサービス

保証書は内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
販売店印、お買い上げ年月日の記入の無いものは無効となりますのでご注意ください。

保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理いたしますのでお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。

- (1) 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
- a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - b お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - c 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。
 - d 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
 - e 本書の掲示のない場合。
 - f 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - g 本機は専門処理業者様の業務用途には適しません。
- (2) ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。

- (3) 本書は日本国内においてのみ有効です。
- (4) 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- (5) 補修用性能部品保有期間は製造中止後5年間です。

修理メモ

お客様相談窓口 : 東京本社 03-5351-1801(代)
修理問い合わせ窓口 : 野田サービスセンター 04-7129-2135(代)

この保証書は本書に明示のした期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。

キ リ ト リ 線

パウチラミネーター 保証書

品 名	パウチラミネーター L210 / L310
品 番	GLM210 / GLM310
保証期間	1年
シリアルNo.	
お買上げ日	年 月 日
お 客 様	ご芳名 ご住所
	TEL ()

GBC製品をお買上げいただきありがとうございます。
保証期間内に、取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で故障した場合には本書記載内容に基づき、お買上げの販売店が無償修理いたします。お買上げの日から左記保証期間内に故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	住所 / 店名
	TEL ()

日本ジ・ピー・シー株式会社

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー

TEL. 03(5351)1801 <http://www.gbc-japan.co.jp>

印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。